

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

日時	令和８年７月９日（水）９：００～１１：１０	
場所	本庁舎２１階 市民文化局会議室（オンライン会議システム併用）	
出席者	【委員】 （五十音順） 岩崎 秀一 委員（オンライン会議） 柏崎 千佳子委員 笹原 克 委員	【施設所管課】 市民生活部 部長 多文化共生推進課 課長 “ 担当係長 “ 職員
事務局	市民生活部企画課長、担当係長、職員	
傍聴者	１名	
議題	(1) 川崎市国際交流センターに関する令和７年度指定管理の年度評価について (2) その他	
多文化共生推進課 担当係長	・会議の開催方法の報告 ・委員３名中３名出席により会議の成立を確認 ・会議の公開・非公開 ⇒「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例」に定める会議公開の原則に基づき、公開とすることで決定 ・会議録の作成 ⇒要約方式で作成することで一同了承 ・会議録の確認者 ⇒「川崎市審議会等の会議の公開に関する条例施行規則」第５条第２項の規定により、委員全員により確認することで一同了承 ・会議録に委員名が記載されること、文書開示請求等があった場合に委員名が原則開示となることを確認 ・配布資料の確認 ・委員、事務局の紹介 ・委員及びその家族が指定管理者と利害関係がないことを確認 ・部会長の選出（委員の互選により笹原委員が部会長に選出）	
多文化共生推進課 担当係長	議題１ 川崎市国際交流センターの令和７年度の指定管理に関する年度評価 ・民間活用事業者選定評価委員会では、所管課が行った令和７年度の１年間の評価について、その評価内容が妥当であるかどうかを審議することを説明 ・年度評価シートの評価段階について説明	
笹原部会長	議事次第に従い、「議題(1)川崎市国際交流センターに関する令和７年度指定管理の年度評価」の説明をお願いします。	
多文化共生推進課	<資料１「指定管理者制度活用事業 評価シート」及び資料２「収支状況等確認シート」に基づき説明>	

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター一部会）会議録

長	・ 審議の開始 ・ 全体について質問等
柏崎委員	今回は第4期指定管理期間の最終年度ということで、この期間の仕様書に基づいているということであるが、来館者数について、外国人市民の人口が大きく増えている中で、来館者数はあまり増えていないため、利用者拡大という面では厳しさを感じている。 また、外国人市民来館者の内訳についても、日本語学習が占める割合が全体の3割程であり、それ以外の項目での来館者数が伸び悩んでいる部分が気になったところであるため、これらの点を踏まえて分析を進めることで、今後の改善につながるのではないかと思います。
岩崎委員	講座参加者数について、「別紙1 オンライン利用者内訳」と評価シートの講座参加者数及び適切な事業の実施に記載された人数が一致していないが、それぞれ異なる理由があるのか、それとも統一すべき数値なのか。
多文化共生推進課担当係長	本来は統一すべき数値であるため、正確な数値を確認の上、資料を修正する。
笹原部会長	日本語講座は増えているが、それ以外での利用は減少傾向にある。また、1（4）施設利用状況と（5）図書室利用状況だけ、前年度と比較して、前年度以上を○、前年度未満を△としているが、他の項目と比べて、増えている項目にのみ記載しているように見受けられる。この表記を用いるのであれば、全ての項目について統一的に記載すべきである。 また、同数の場合の取扱いについても注記することが望ましい。この部分は記載する場合は全て入れる、もしくは全て記載しないとするのかを決めた方が良い。
多文化共生推進課担当係長	施設利用状況の稼働率や講座参加者数については、全体的に増加しているが、一方で来館者数は減少している。原因としては、指定管理事業ではなく、協会事業のインターナショナルフェスティバルが雨天開催であったことが影響しており、それに基づく来館者数が約4,000人減少してしまっている。 指定管理事業については、一部の施設利用や講座を除き、全体的に利用が増加している。
笹原部会	インターナショナルフェスティバルは毎年どのくらいの参加者数となっ

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

長	ているのか。
多文化共生推進課担当係長	令和6年度は約8,000人、令和7年度は約4,000人である。
笹原部長	約4,000人の減少が来館者数全体の減少に影響しているということか。
多文化共生推進課担当係長	そのとおりである。外国人市民来館者数では、その他の部分で国際ナショナルフェスティバルの参加者数の減少が影響している。
市民生活部長	前年度以上を○、前年度未満を△と表現している部分については、記載を無くす方向で調整させていただく。
笹原部長	国際交流協会会長の舩山さんはいつから会長となっているのか。
多文化共生推進課担当係長	2年前の6月からである。
笹原部長	・ 個別の項目についての審議 ⇒利用者満足度の項目について 利用者満足度の「4」、事業成果の「3」について審議する。 利用者満足度を「4」とした理由として、アンケート回収率の高水準の維持及び満足度の向上を挙げているが、これについて意見はあるか。
岩崎委員	アンケート回収率について、資料上どこかに記載はあるか。
多文化共生推進課担当係長	「別紙4_アンケート回収率」に記載がされており、事業報告書に記載されている参加者数と回答数を元に集計している。
岩崎委員	「別紙4_アンケート回収率」に記載されている参加者数が「別紙1_オンライン利用者内訳」に記載されている参加者数とは一致していないことに加え、「別紙1_オンライン利用者内訳」を分母とした場合にアンケート回収率が変わってきてしまうが、アンケートを設定していない講座があるのか。

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター一部会）会議録

多文化共生推進課 担当係長	日本語講座は年度末に自由記述形式でアンケートをとっているが、集計には含まれていない。生活にほんごサロンなどもアンケートを実施しているが、集計に含まれていない。
岩崎委員	アンケート回収率の算出方法については、「別紙４ アンケート回収率」に補足説明を記載していただきたい。アンケートの回収対象としている講座と対象外としている講座について、考え方も含めて記載してほしい。 計算方法については、当初から変更していないという理解で良いか。
多文化共生推進課 担当係長	追記させていただく。 計算方法についても、当初から変更はない。
笹原部会長	評価「４」とした理由は、アンケート満足度が前年度を上回ったことによるものと理解してよいか。
多文化共生推進課 担当係長	前年度との比較というより、仕様書の基準を上回ったかどうかで判断しており、前年度の評価「４」と同等の回収率に加え、さらに満足度が上昇していることを加味して、「４」という評価としている。
柏崎委員	講座の受講者自身が興味を持って参加しているため、高い満足が得られやすいという見方もあるが、昨年度同様に高水準の回収率、満足度というところを踏まえると評価としては妥当だと考える。
岩崎委員	評価「４」については、仕様書を上回ったかどうかというところが基準になるので、昨年度も今年度も仕様書を上回っているという点を踏まえて妥当な評価であると思う。
笹原部会長	それでは、利用者満足度は「４」、事業成果は「３」という評価とする。 ⇒収支計画・実績の項目について 続いて、効率的・効果的な支出が「４」、他の項目が「３」の評価について、審議する。
岩崎委員	効率的・効果的な支出を「４」とした理由について、物価高騰下における経費削減の取組を評価したものと理解しているが、主な記載内容としては、事務用品等の経費削減及び公衆電話を撤去したことであり、経費削減した金額としては合わせて約５０万円となっている。 資料２「収支状況等確認シート」を確認すると、予算額に比べて約３７０

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

	万円の支出が削減できているため、削減効果が大きかった電気料や事務経費の部分を記載しての方が評価「4」にしやすい。 また、事務経費の差額の要因として、「インボイス等による消費税の負担増のため経費削減」と記載されているが、なぜ経費を減らしたのかというよりも、どのような取組により経費を減らしたのかを記載すべきであるため、記載内容は改めて検討していただきたい。 収入の確保では、評価シートに約383万円の収入の確保を行ったと記載されているが、今年度限りの内容ではないため、前年比などと比較した記載にしてほしいのと、効率的・効果的な支出の3ポツ目に「国の外国人受入環境整備交付金(R7:6,600,000円)を活用し、」と記載があるが、資料2「収支状況等確認シート」にはこの収入の記載が見当たらないので、この収入がどこで決算上、計上されているのかを確認させていただきたい。 また、資料2「収支状況等確認シート」の「7 雑収入（補填金）」は予算額が0円なので、この項目は不要だと思う。
多文化共生推進課担当係長	資料2「収支状況等確認シート」の差額の要因の記載について、努力した結果、経費を削減した理由を記載した方が良いと思うので、記載内容は改めて検討したい。また、金額的には人件費や事務経費の部分は大きいですが、努力した点というよりは相談員の配置状況によるものやインボイス制度によるものであるため、努力した点であれば、評価シートの記載のとおりである。 評価シートの約383万円の収入の確保の記載については、前年比を追記させていただく。 また、国の外国人受入環境整備交付金は雑収入のところに計上されるのかと思うが、確認して改めて御報告させていただく。
岩崎委員	効率的・効果的な支出は評価「4」となっているが、現状の評価シートの記載内容では経費削減した効果があまり大きくないため、もう少し効率的・効果的に支出を見直した内容を盛り込めると望ましい。例えば、電気料が金額的に大きく削減できているが、記載内容に盛り込むことはできるか。
多文化共生推進課担当係長	事業報告書上の記載はないが指定管理者へ確認したところ、空調の調整や送風機を使用しながら節約するなどの努力はしているため、その部分は評価できるところだと思う。
岩崎委員	そういった地道な努力による削減効果は大きいと思うので、できる限りの材料を集めて記載してほしい。
笹原部会長	評価「4」自体は問題ないのかもしれないが、事務用品等の削減だけではなく、金額的に大きく削減できている部分を評価に反映させるべきである。

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター一部会）会議録

企画課長	また、国の外国人受入環境整備交付金は雑収入で良いのか。
笹原部長	国から市への交付金であり、指定管理料に含まれている。
多文化共生推進課担当係長	そうすると約 774 万円の雑収入の内訳を教えてください。
多文化共生推進課担当係長	内訳として大きい部分はホテル・レストランからの光熱水料費負担分の受入であり、指定管理以外で貸付をしており、約 563 万円の収入がある。指定管理者として施設全体の光熱水料費を支払い、その中で貸付部分については面積按分で貸付事業者からの収入を得ている。
笹原部長	シェアサイクルの増設分は金額としてはかなり小さいが、評価シートに記載する必要はあったのか。
多文化共生推進課担当係長	評価シートには努力した結果の部分を記載するようにしている。
岩崎委員	シェアサイクルについては、評価シートのサービス向上の取組で 14 台増設したことを記載しており、そこに対する評価ということと、収入の確保の評価自体は「3」であるため、記載は変える必要はないと思う。 また、国の外国人受入環境整備交付金は決算上、指定管理料の中に含まれるのであれば、指定管理業務の一部と考えられるため、特出しして記載する必要はないと思う。
笹原部長	確かにこの記載は分かりにくいので、他の指摘箇所を含めて記載内容を修正していただきたい。 それでは、収支計画・実績の項目について、効率的・効果的な支出は「4」、他の評価 2 項目については「3」でよろしいか。 ⇒＜一同了承＞ ⇒サービス向上及び業務改善の項目について 続いて、サービス向上及び業務改善の取組について、適切な事業の実施は「4」、他の項目全て「3」という評価になっている。こちらについてはいかがか。
柏崎委員	事業が多岐に渡っており、評価すべき点と課題の両面を総合的に勘案すると、この評価は妥当であると思う。 母語母文化継承支援事業の開催回数について、令和 6 年度は多言語読み聞

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

	かせ事業 6 回、多文化共生ふれあい事業 1 回の計 7 回、令和 7 年度はタイとフィリピンのお話などの 1 回、多文化共生ふれあい事業 1 回の計 2 回の開催ということで開催回数が減ったということで認識に相違ないか。
多文化共生推進課 担当係長	母語母文化継承支援事業について、令和 6 年度は多言語読み聞かせ事業を 6 回開催しているが、日本人親子連れの参加者がほとんどであったため、より効果的な事業に見直しを行っている。
柏崎委員	今後見直していくということであれば、より新しく有意義な形になれば良いと思うが、今年度はどのようにしていくのか。
多文化共生推進課 担当係長	今年度については、どのような事業にしていくなかを検討している最中である。
柏崎委員	重要な事業である外国人相談事業について、外国人相談件数が減少した理由として、SNS の普及や同胞コミュニティによる情報共有が要因として挙げられているが、言語別の相談件数にはばらつきが見られるため、一概にそれだけが要因という訳ではなく、相談のしやすさなども関係しているのではないかと感じた。相談員が不在となっている言語については、相談があった場合は電話通訳を介して相談を受けており、相談員を常に多言語で配置することは難しいと思うが、相談員の配置状況が相談件数に影響している可能性もあるのではないかと思います。 また、アウトリーチを積極的に行っており、イベント等での出張相談を実施しているが、実際は出張相談での相談者はほとんどおらず、国際交流センターでの生活オリエンテーション実施時の参加者が多くを占めており、人を集めて説明することとブースを出展して説明することでは、性質が異なるため、評価シート上の記載も分けて記載した方が良いと思う。
多文化共生推進課 長	一般的な部分で考えられる要因のみを言及してしまっており、相談員の欠員が影響している可能性がある言語もあったため、そういった部分も含めて今後は言及していきたいと思う。 また御指摘のとおり、生活オリエンテーションと出張相談という性質の異なるものをまとめて評価シートへ記載してしまっているため、記載内容は修正させていただく。
笹原部会長	外国人相談件数が減っている原因分析はどこが実施したものなのか。

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

多文化共生推進課長	市と指定管理者で協議して分析したものであり、他都市についても外国人相談件数は減っている。
多文化共生推進課担当係長	件数としては、相談員が欠員となっている言語は元々件数が多くはないため、全体件数として下がった主な原因ではないと思う。
笹原部長	外国人相談窓口は本事業の中核を担う重要な取組であるため、相談件数減少の要因について十分な分析と検討が必要である。
市民生活部長	今回からより正確な集計を行うために、来館のみの問い合わせなどは除外しているが、来館のみの問い合わせ件数を把握できていないため、令和7年度と令和8年度の相談件数を比較した際に相談件数を増やすことができるよう取組んでいくことが必要と考えている。SNSの普及や同胞コミュニティによる情報共有については推測の域を出ないため、今後はその部分をあまり全面的に出さずに、協議していきたい。
柏崎委員	前回の事業報告書と比較すると、タイ語は大きく減っており、フィリピン語は増えており、言語ごとのバラつきがあるが、その部分の原因はどのように考えているのか。
多文化共生推進課課長	今後、要因分析を進めていきたい。
多文化共生推進課担当係長	相談窓口を充実化するために、外国人相談窓口利用者へのアンケートを取っており、それに基づき実施した行政書士などによる専門相談や生活オリエンテーションについて、継続して行っている。今後もより効果的に実施できるようにしていきたいと考えている。
笹原部長	外国人観光客の行き先はSNSが中心になっており、外国人相談窓口についてもSNSなどをきっかけに大きく相談が増えてくる可能性も考えられるため、さらなる周知や相談機会の拡充につながる手法を検討する余地があると思う。
多文化共生推進課担当係長	令和8年度からの指定管理事業においてはSNS等を積極的に活用していく予定である。

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

岩崎委員	広報出版事業のアクセス件数について、Facebook は評価シートに記載されているが、HPやブログについては事業報告書には記載されているものの、評価シートには記載されていないため、これらについても前年度との比較を含めて評価シートへ記載していただきたい。
多文化共生推進課 担当係長	HPやブログについても、Facebook と同様に評価シートへ件数を記載させていただく。
笹原部会長	サービス向上及び業務改善の項目について、適切な事業の実施は「4」で、他の評価2項目については「3」でよろしいか。 ⇒＜一同了承＞
笹原部会長	ちなみに留学生と交流する会の参加人数が大きく下がった要因は何か。
多文化共生推進課 担当係長	令和6年度はインターナショナルフェスティバル内で開催したため、参加人数が多かったが、令和7年度は単独でポッチャ大会を開催しているため、少なくなっている。
笹原部会長	承知した。 ⇒組織管理体制の項目について 続いて組織管理体制について、全ての項目で「3」という評価になっているが、こちらはいかがか。
柏崎委員	担当者のスキルアップの項目について、各種研修への参加や多文化共生マネージャー資格の取得実績を踏まえると、「4」と評価する場合は本項目が該当すると思われる。
多文化共生推進課 担当係長	所管課としても評価の明確な基準が無いため迷った部分であり、新たに多文化共生マネージャーの資格を取得されたこと、効果的に事業の推進や新規事業の企画に生かしていることを踏まえて評価を「4」としても良いと考えている。
岩崎委員	積極的に評価することは良いが、多文化共生マネージャーのネットワークを生かして効果的な事業の推進や新規事業の企画を行った事例はあるのか。
多文化共	令和8年度に外国人市民と地域の方々をつなぐ役割を担うコミュニティ

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

生推進課 担当係長	リーダーを育成するという新規事業の実施に当たり、多文化共生マネージャーのネットワークを生かして令和7年度に企画を行っている。
岩崎委員	きちんと成果も出ているため、評価「4」とすることは妥当であると思う。
笹原部会長	新規事業の企画に生かしたこと以外には何かあるか。
多文化共生推進課 担当係長	講座の講師の選任など、研修で得た知識やネットワークを生かしながら取り組んでいる。現場にはもう1名多文化共生マネージャーの資格を取得されている方がいる。
笹原部会長	これらの取組を評価し、「担当者のスキルアップ」の評価を「4」に変更してよいか。 ⇒＜一同了承＞ 安全・安心への取組について、浸水被害などが多いため、その対応をきちんと行っていると感じている。 それでは、組織管理体制の項目について、担当者のスキルアップは「4」、他の評価項目については「3」でよろしいか。 ⇒＜一同了承＞ ⇒適正な業務実施について 続いて適正な業務実施について、全ての項目で「3」という評価になっているが、こちらはいかがか。 シェアサイクルの内容が記載されていないが、問題ないか。 警備も特に大きな問題は生じていないか。
多文化共生推進課 担当係長	シェアサイクルについては、前述の業務改善によるサービス向上の評価項目に記載している。警備については、令和6年度は一部マナーを逸脱した利用者に対して警察と連携して対処していたが、今回はそういったこともなかったもので、評価を「3」としている。
笹原部会長	それでは、適正な業務実施の項目について、全ての項目「3」という評価でよろしいか。 ⇒＜一同了承＞ ⇒その他加点について 続いてその他加点について、「3」という評価になっているが、こちらはいかがか。
岩崎委員	3つ目のポツについて、「木月庵を大切に作る会」を全2回開催したと記載

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

	されているが、こちらは主催、共催、協力など色々あるが、どれに該当するのか。
多文化共生推進課担当係長	事業報告書にも記載されているとおり、川崎国際交流茶道研究会が主催しており、指定管理者も協力して実施している。
笹原部会長	共催ではないのか。
多文化共生推進課課長	主催は「木月庵を大切にする会」の実行委員会であり、協力として国際交流協会も運営に携わっている。
笹原部会長	こういった形で利用してくれる団体の存在は大きく、より多くの団体に利用してもらえるようになれば、茶室の利用促進につながると思う。 それでは、その他加点について、「3」という評価とする。 令和7年度の総合評価について、組織管理体制の中の担当者のスキルアップの項目が評価「4」へ上がることにより、評価点合計が70.4となるため、評価ランクも「B」となるが、総合評価としてこの評価でよろしいか。 ⇒＜一同了承＞ ⇒事業執行（管理運営）に対する全体的な評価について 記載内容について、訂正や追記は無しでよろしいか。 ⇒＜一同了承＞ ⇒来年度の事業執行（管理運営）に対する指摘事項等について
柏崎委員	4つ目のポツについて、社会情勢という記載が曖昧な表現だが、具体的にどういったことを指しているのか
多文化共生推進課課長	この場合の社会情勢は紙媒体から電子化が進んだことなどのメディアの変化のことを指している。
柏崎委員	その場合はもう少し狭義の意味の言葉に表現を変える方が良いと思う。
多文化共生推進課課長	記載を修正させていただく。

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

柏崎委員	6つ目のポツについて、4ポツ目と記載内容が被っている部分もあるが、団体支援や交流支援を中心とする項目であるならば、外国人コミュニティ支援のような内容も追記するなど記載を見直した方が良いと思う。
多文化共生推進課課長	記載を修正させていただく。
笹原部長	7つ目のポツについて、令和7年度は国際交流センター活用推進検討委員会を書面開催しているとのことだが、対面で開催していくべきである。 対面開催が出来なかった理由は何か。
多文化共生推進課担当係長	令和7年度は指定管理者を選定する年度だったため、指定管理者の選定が終わったタイミングでの開催を検討していたと聞いており、開催時期を12月に予定していたが、スケジュールがなかなか合わなかったため、書面開催になったとのことである。
笹原部長	対面形式で年2回の開催は厳しいか。
多文化共生推進課担当係長	対面と書面でそれぞれメリットがあると思うので、今後は開催方法や実施回数も含めて検討していく。
岩崎委員	2つ確認事項があり、1つ目は事業報告書の利用者からの意見で、「現金払いのみだと不便」という意見に対して、「キャッシュレス決済の導入に向けて、今後検討する予定である。」と施設から回答しているが、キャッシュレスは導入していないことの方が遅れている気がするため、今後検討していくことを確実に記載してもらった方が良かったこと、2つ目は外国人相談窓口についてもさらなる充実を図っていくことを項目として新たに設けても良いと思うがいかがか。
多文化共生推進課担当係長	キャッシュレスは導入することを仕様書にも記載しており、現在導入に向けて準備を進めているところである。
岩崎委員	実施時期が決まっているのであれば、あえて記載しなくてもよい。
笹原部会	外国人相談窓口に関する内容は記載した方が良いと思う。

市民文化局民間活用事業者選定評価委員会（国際交流センター部会）会議録

長	
柏崎委員	多文化共生プラザとの連携について、内容的には触れられていないが、どのようになっているのか。
多文化共生推進課課長	カバーするエリアが分かれている部分はあるが、相談員のスキルアップという観点で連携を強化しているところなので、今後も更に連携を強めていきたいと考えている。
柏崎委員	多文化共生プラザとの連携強化により外国人相談窓口のさらなる充実につながるのであれば、その点を記載すれば良いと思う。
多文化共生推進課課長	改めて記載内容を検討して追記したいと思う。
笹原部会長	それでは、評価点合計は 70.4 となったことにより、評価ランクも「B」となった。各項目でいただいた意見を踏まえて評価シートは修正していただく。 閉会 ・閉会の挨拶 ・今後の流れ等について説明